

第3回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成19年8月8日(水) 午後2時～午後3時55分
2. 開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
3. 出席者 13名(本人出席13名、別添名簿参照)
4. 事務局出席 甲府商工会議所 地域振興部 部長 北井武国
" " 副部長 三井秀臣
" " 課長 越石 寛
" " 主事 岡 健司
甲府市中心市街地活性化協議会事務局 野澤 崇

5. 議事内容等

開会の後、丸茂会長より、「本日は、第3回目の協議会の開催にあたり、山梨県の深沢課長、甲府市の首藤副市長をはじめ、多数の委員の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。甲府市が主体となっている基本計画策定委員会も順調に進んでおり、甲府市のまちづくりも着実に進んでいます。本日は、4つほどの議題を協議いたしますので、委員各位のご協力をお願い申し上げます。」旨のあいさつをした。

続いて、丸茂会長に議長に就任いただき、次の議事について、事務局に説明を求め、それぞれの内容について意見を聞いた。

1) 交通問題検討ワーキンググループの活動状況について

事務局より、別添(資料1)に基づいて、2回のミーティングの開催で、①レトボンの再活用②公共交通の利便性向上と利用促進について検討し、9月下旬～10月上旬ごろまでに提案内容をまとめたことを説明した。また、雨宮委員より、交通事業者並びにワーキンググループのメンバーとして補足説明があり、「中心商店街のバス停として一番活用されている岡島百貨店のバス停の反対側に、甲府駅方面に向うバス停がないので、実現できるように提案の中に、盛り込みたい。」旨の説明があった。

議長は、委員に意見を求めたところ、丹沢委員より「具体的なバス停の候補地としての考えがあるのか、私としては、桜通り中交差点の貸切タクシーの待合所のあたりがいいのではないかと考えるが」との意見があった。

雨宮委員より、「山梨県で、城東通りNTT甲府支店西交差点の付近の拡幅を計画していることやグループ企業の土地であることなど踏まえて候補地として検討していきたい。」との回答があった。

2) 商店街検討事業の状況について

事務局より、別添(資料2)に基づいて、3商店街(オリオン通り、ペルメ桜町、コリド桜町)で進められている事業の現状を説明した。

議長は、委員に意見を求めたところ、樋口委員より「3商店街の件ではないが、中心街には人が集まる場所が必要。若者が集まるステージ(核となるようなもの)が欲しい。私としては、中銀本店と岡島百貨店の間あたりが候補地としてはいいのではない

いかと考える。」

これを受けて首藤委員より「適切な答えとなるかわからないが、紅梅地区再開発に併せて岡島百貨店周辺を変えていこうという考えがある。将来的にオリオン通りのアーケードも城東通りまで伸ばしたいという考えもある。また、昭和ＳＣの問題もあり、県民・市民に甲府の街は変わったといことが実感できるような計画を作っていきたい。」

さらに、樋口委員より「また、北口の再開発で甲府市は大きな投資をするので、中央商店街とのジョイントも考えてほしい。」旨の意見も出された。

3) 甲州夢小路（仮称）事業の提案について

事業を中心的に推進している丹沢委員より、別添（資料3）に基づいて、甲州夢小路（仮称）事業の概要説明があった。また、平成22年春の完成を目指しているが、建物の建設に着工する前の造成地を来年の春から一年間程度花を植えて、一面花で飾る事業にも取り組みたいとの提案もあった。

併せて丹沢委員より甲府市に対して、「当事業の実施に当たっては、お城との連携は必要不可欠あるので、中央線を跨ぐような歩道橋と以前計画があったお城南の遊亀橋から岡島北に抜ける道の開発ができないか検討してほしい。」との意見が出された。

議長は、委員に意見を求めたところ、首藤委員より、「中央線の上を跨ぐということは安全面を含めてJRと非常に難しい交渉が必要になるのでよく検討したい。また、お城から高山病院に抜ける道については、現状オリオン通りがあるので、抜くことによりどのような効果が期待されるのか多少疑問がある。」との回答を示した。

丹沢委員より、「道路を抜くことにより、岡島百貨店周辺が変わってほしいという期待がある。」

続いて、議長は、オブザーバーの山梨県深沢商業振興金融課長にも意見を求めた。深沢氏より、「甲府の中心商店街の売場面積の約9割が大型店という現状から、岡島百貨店を含めた大型店との連携は必要不可欠である。また、県としてもまちづくり3法改正により、大型店の地域貢献を強く求めていく方針である。」

最後に事務局より、「甲州夢小路（仮称）事業の実施に当たっては、現状丹沢氏を中心に民間単独での事業実施で進んでいるが、国土交通省の制度である観光ルネッサンス事業やまちづくり交付金などの補助金を活用し、行政と連携した事業として検討して欲しい。」旨甲府市に要望した。

4) 商店街関連のソフト事業の提案について

事務局より、別添（資料4）に基づいて、まちづくり会社の新設や芸術・文化を切り口にしたイベント等についての提案事業を説明した。特に、まちづくり会社の新設は、甲府中央まちづくり会社との兼ね合いはあるが、現状甲府中央まちづくり会社が駐車場運營業務を中心としていることから、まちづくりに特化した会社にしてほしいことや今年度中から準備をすすめたいこと、またソフト事業に限らず、芸術・文化をキーワードにしたまちづくりを推進したいことを強調した。

議長は、委員に意見を求めたところ、首藤委員より、「まちづくり会社は、会社形態などの詳細は別にして、まちづくりを推進していくために必要である。また、ソフト事業は行政の不得手な部分であるが、国との打ち合わせの際にもソフト事業を充実して欲しいとの要望が強かったことから、今回の提案は非常に参考になる。特に、丹

沢委員から説明があった店舗デザイン向上事業は、かっこいい街にしていくためには必要不可欠な事業と考えている。」

また、樋口委員からは、「朝日町では、福祉団体と連携し、高齢者・子供・障害者などに優しいまちづくりを推進している。是非朝日町にも銀座街の駅のような施設が空き店舗などを活用して実現できるよう協力してほしい。」旨意見が出された。

事務局より、「朝日町は、家賃補助事業の対象となった店舗もあり、旧TMOのエリアとして引き続き支援を考えている。しかし、銀座街の駅のような施設は、利益を出す施設でないことから、商店街と協力団体の強い意志と連携が必要なので、しっかりした体制を整えた上で検討してほしい。」旨逆に要望した。

議長は、各委員並びに事務局に対してその他の案件について、意見等を求めたところ、特になく、議事を終了した。

第3回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属団体・役職名	8/8
会長	丸 茂 紀 彦	甲府商工会議所 副会頭	○
副会長	長 坂 善 雄	甲府商店街連盟 会長	○
委員	首 藤 祐 司	甲府市 副市長	○
〃	渡 辺 恭 史	甲府商工会議所 専務理事	○
〃	高 野 洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 専務取締役	○
〃	河 西 眞 一	甲府中央商店街新生協議会 会長	○
〃	樋 口 幹 男	朝日通り商店街(協)	○
〃	谷 口 俊 郎	甲府市大型店協議会 会長	×
〃	宇佐美 太 郎	紅梅地区再開発組合 理事長	○
〃	浅 川 健 一	春日地区自治会連合会 会長	×
〃	清 水 明	〃 副会長	×
〃	有 井 昇	(株)山梨中央銀行 執行役員 営業本部 公務部長	○
〃	雨 宮 正 英	山梨交通(株) 常務取締役	○
〃	牛 奥 久 代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	○
〃	森 澤 昌 子	子育て支援団体「ハッピーキッズ」代表	×
〃	市 原 実	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 教授	×
〃	丹 沢 良 治	NPO法人 街づくり文化フォーラム 理事長	○
オブザーバー	深 沢 博 昭	山梨県 商業振興金融課 課長	○
〃	跡 部 位	甲府警察署 交通課 課長	×

○=出席、×欠席、代=代理出席